

## 平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月12日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 オーシャンシステム  
 コード番号 3096 URL <http://www.ocean-system.com>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 樋口 勤  
 (氏名) 古川原 英彦  
 TEL 0256-33-3987  
 配当支払開始予定日 平成24年12月4日

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	20,817	4.6	345	△25.2	369	△26.3	187	△21.7
24年3月期第2四半期	19,903	6.4	462	30.4	500	27.1	239	261.3

(注)包括利益 25年3月期第2四半期 167百万円 (△30.2%) 24年3月期第2四半期 239百万円 (135.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	19.01	—
24年3月期第2四半期	23.65	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭		
25年3月期第2四半期	13,936		4,938		35.4	501.67		
24年3月期	13,938		4,825		34.6	490.17		

(参考)自己資本 25年3月期第2四半期 4,938百万円 24年3月期 4,825百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	5.50	—	5.50	11.00
25年3月期	—	5.50	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	5.50	11.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	43,400	7.7	1,020	7.6	1,050	4.2	510	9.0	51.81

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており「会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更」に該当しております。詳細は【添付資料】3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	10,833,000 株	24年3月期	10,833,000 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	988,933 株	24年3月期	988,892 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	9,844,076 株	24年3月期2Q	10,109,228 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定等については【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

【添付資料】

目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	10
(5) セグメント情報等 .....	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、欧州の経済危機や中国経済の減速による世界経済の下振れや長期化する円高などにより、依然として厳しい状況が続いております。

食品小売業界におきましても、先行き不透明感を背景とした消費者の低価格志向や節約志向は依然として高い水準にあり、更には猛暑の影響を受けた野菜類の価格が不安定な状況も追い討ちをかけるなど、厳しい経営環境が続きました。

このような状況の下、当社グループは、お客様の低価格志向に対応した販売戦略を維持する一方で、利便性の向上や品揃えの充実等をはじめとした、新たな顧客層の開拓に取り組むことにより、厳しさを増す経営環境に耐える収益基盤の確立・強化に努めてまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は208億17百万円（前年同期比4.6%増）、営業利益は3億45百万円（前年同期比25.2%減）、経常利益は3億69百万円（前年同期比26.3%減）、四半期純利益は1億87百万円（前年同期比21.7%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### (小売事業)

「チャレンジャー」部門につきましては、お客様目線での売り場作りと価格競争力における優位性を特徴とした店舗運営を継続してまいりましたが、それに加え、クレジットカード決済の開始、大型店舗におけるATM（現金自動預け払い機）の設置など、お客様の利便性向上の施策を実施し、新たな顧客層の獲得に努めてまいりました。

「業務スーパー」部門につきましては、7月に「業務スーパー大曲店」（秋田県大曲市）、8月に「業務スーパー魚津店」（富山県魚津市）及び9月に「業務スーパー仙台一番町店」（仙台市青葉区）をオープンし、営業エリアの拡大を図ってまいりました。また、第1四半期連結会計期間に始めたテナント方式での精肉売場新設により、品揃えの充実と集客に努めてまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は145億93百万円（前年同期比7.2%増）、セグメント利益は業務スーパー新規店舗の出店費用の増加や、電気料金の値上がりによるランニングコストの増加により2億68百万円（前年同期比11.8%減）となりました。

#### (弁当給食事業)

「フレッシュランチ39」（事業所向け宅配弁当）につきましては、季節の食材を使用したメニューの開発や、関東地方における営業強化を図り、新規顧客の獲得に努めてまいりましたが、猛暑の影響により弁当の需要が低迷したこと、また、節電等の理由により企業が夏季休業日を増やす等の傾向が見られたことから、全体的な受注は苦戦を強いられ、1日当たりの平均販売食数は伸び悩みました。

「こしひかり弁当」（首都圏オフィス向け店頭販売弁当）につきましては、競合店との価格競争の激化により代理店販売食数は低調に推移いたしました。また、当第2四半期連結会計期間より駅弁の受託製造も開始し、工場の生産能力向上に優先的に取り組んでまいりました。

当第2四半期連結累計期間における1日当たりの平均販売食数は「フレッシュランチ39」73,400食、「こしひかり弁当」6,700食の合計80,100食（前連結会計年度末比1.1%減）となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は34億82百万円（前年同期比0.9%増）、セグメント利益は原材料価格の上昇及び営業販売の委託料等の増加により1億32百万円（前年同期比12.8%減）となりました。

#### (宅配事業)

宅配事業につきましては、外部委託販売員（ヨシケイパートナーレディ）の導入を継続し、営業コースの見直しや人件費の抑制に注力しました。また、お客様からのご要望にお応えした特別販売企画や、新規顧客を対象とした「お試しキャンペーン」などの販売促進活動を行いました。受注件数は減少しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は24億80百万円（前年同期比2.9%減）、セグメント利益は野菜類の仕入価格上昇の影響により1億58百万円（前年同期比16.9%減）となりました。

#### (旅館、その他外食事業)

旅館、その他外食事業につきましては、旅館「海風亭 寺泊 日本海」は隣接県を中心に営業活動の強化を図ってまいりましたが、外壁改修工事により一部客室の眺望に影響が出たことから、来客数は前年同期に比べ減少いたしました。また、「丸源ラーメン」につきましても、夏季メニューによる販売促進活動を強化したものの、猛暑の影響が大きく、来客数は大幅に前年同期を下回って推移いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2億60百万円（前年同期比9.7%減）、旅館部門における外壁改修工事の影響によりセグメント損失は28百万円（前年同期はセグメント損失6百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ1百万円減少し、139億36百万円となりました。負債合計は、前連結会計年度末に比べ1億15百万円減少し、89億97百万円となりました。純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1億13百万円増加し、49億38百万円となりました。この結果、自己資本比率は0.8ポイント上昇し、35.4%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期通期の連結業績予想につきましては、前回発表(平成24年5月11日)の業績予想に概ね沿う形で推移しており、今後も業績に大きな影響を与える可能性のある要因がないと考えられるため、変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ1,694千円増加しております。

なお、セグメント情報に与える影響は当該箇所に記載しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,045,270	979,246
売掛金	821,782	807,379
商品	1,149,532	1,129,785
原材料	130,554	139,074
その他	440,039	467,092
貸倒引当金	△6,582	△6,189
流動資産合計	3,580,595	3,516,390
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,317,023	4,326,752
土地	2,936,951	3,005,441
その他(純額)	583,659	604,388
有形固定資産合計	7,837,634	7,936,581
無形固定資産		
のれん	8,128	6,275
その他	387,611	358,449
無形固定資産合計	395,739	364,724
投資その他の資産		
その他	2,138,563	2,134,127
貸倒引当金	△14,336	△15,533
投資その他の資産合計	2,124,227	2,118,593
固定資産合計	10,357,601	10,419,899
資産合計	13,938,197	13,936,289
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,378,210	2,160,092
1年内償還予定の社債	500,000	500,000
短期借入金	1,074,628	1,635,435
未払法人税等	183,424	176,270
賞与引当金	187,770	189,818
その他	1,151,534	1,226,190
流動負債合計	5,475,568	5,887,806
固定負債		
長期借入金	2,120,398	1,602,277
役員退職慰労引当金	316,418	332,718
退職給付引当金	17,504	18,748
資産除去債務	421,884	440,178
その他	761,126	716,084
固定負債合計	3,637,331	3,110,005
負債合計	9,112,900	8,997,812

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	801,710	801,710
資本剰余金	366,781	366,781
利益剰余金	4,441,973	4,574,947
自己株式	△751,470	△751,504
株主資本合計	4,858,994	4,991,934
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△33,697	△53,456
その他の包括利益累計額合計	△33,697	△53,456
純資産合計	4,825,297	4,938,477
負債純資産合計	13,938,197	13,936,289

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	19,903,157	20,817,884
売上原価	14,777,529	15,609,443
売上総利益	5,125,627	5,208,441
販売費及び一般管理費	4,663,609	4,863,062
営業利益	462,018	345,379
営業外収益		
受取利息	149	132
受取配当金	7,929	7,929
その他	56,304	39,612
営業外収益合計	64,384	47,674
営業外費用		
支払利息	23,426	22,337
その他	2,487	1,655
営業外費用合計	25,914	23,992
経常利益	500,487	369,060
特別利益		
収用補償金	—	5,552
特別利益合計	—	5,552
特別損失		
固定資産売却損	—	355
固定資産除却損	28,374	6,546
店舗閉鎖損失	—	24,815
災害による損失	30,052	—
その他	2,171	1,647
特別損失合計	60,597	33,365
税金等調整前四半期純利益	439,890	341,247
法人税、住民税及び事業税	73,875	164,044
法人税等調整額	126,936	△9,913
法人税等合計	200,812	154,131
少数株主損益調整前四半期純利益	239,077	187,115
少数株主利益	—	—
四半期純利益	239,077	187,115



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	239,077	187,115
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	801	△19,759
その他の包括利益合計	801	△19,759
四半期包括利益	239,878	167,356
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	239,878	167,356
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	439,890	341,247
減価償却費	280,145	290,894
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△267,820	16,300
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	1,335	1,243
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△81	804
災害損失引当金の増減額 (△は減少)	△20,095	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	5,469	2,047
受取利息及び受取配当金	△8,079	△8,061
支払利息	23,426	22,337
収用補償金	—	△5,552
固定資産売却損益 (△は益)	—	355
固定資産除却損	26,801	3,546
店舗閉鎖損失	—	24,815
賃貸借契約解約損	2,171	1,074
災害損失	30,052	—
売上債権の増減額 (△は増加)	129,326	13,236
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△232,811	10,356
未収入金の増減額 (△は増加)	17,847	△423
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△50,503	△31,954
仕入債務の増減額 (△は減少)	△137,852	△218,117
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△65,410	45,587
未払費用の増減額 (△は減少)	7,134	15,767
預り保証金の増減額 (△は減少)	21,148	△11,251
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△71,485	19,666
その他	34,754	32,978
小計	165,364	566,898
利息及び配当金の受取額	8,080	8,062
利息の支払額	△25,238	△21,847
法人税等の支払額	△406,810	△170,564
収用補償金の受取額	—	11,500
災害損失の支払額	△7,687	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	△266,291	394,049

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△28,033	△29,612
定期預金の払戻による収入	28,000	29,596
投資有価証券の取得による支出	△49	—
有形固定資産の取得による支出	△225,747	△365,659
有形固定資産の売却による収入	—	100
無形固定資産の取得による支出	△73,183	△19
出資金の払込による支出	△524	△1,821
敷金及び保証金の差入による支出	△38,068	△35,299
敷金及び保証金の回収による収入	359	368
その他	—	△6,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△337,247	△408,347
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△100,000	600,000
リース債務の返済による支出	△34,124	△40,487
長期借入れによる収入	1,600,000	—
長期借入金の返済による支出	△523,758	△557,314
自己株式の取得による支出	△247,500	△33
配当金の支払額	△56,072	△53,905
財務活動によるキャッシュ・フロー	638,545	△51,741
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	35,006	△66,039
現金及び現金同等物の期首残高	710,207	886,482
現金及び現金同等物の四半期末残高	745,214	820,442

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	小売事業	弁当給食 事業	宅配事業	旅館、その 他外食事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	13,608,560	3,450,873	2,555,408	288,314	19,903,157	—	19,903,157
セグメント間の内部売上 高又は振替高	4,610	70,367	—	427	75,406	△75,406	—
計	13,613,171	3,521,241	2,555,408	288,741	19,978,563	△75,406	19,903,157
セグメント利益又は損失 (△)	304,472	151,391	190,989	△6,149	640,704	△178,685	462,018

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△178,685千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△185,718千円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない全社共通費用であり、その主なものは管理部門に係る販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	小売事業	弁当給食 事業	宅配事業	旅館、その 他外食事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	14,593,952	3,482,586	2,480,960	260,385	20,817,884	—	20,817,884
セグメント間の内部売上 高又は振替高	2,138	74,385	—	778	77,302	△77,302	—
計	14,596,091	3,556,972	2,480,960	261,163	20,895,187	△77,302	20,817,884
セグメント利益又は損失 (△)	268,442	132,039	158,666	△28,313	530,834	△185,455	345,379

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△185,455千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△196,833千円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない全社共通費用であり、その主なものは管理部門に係る販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントの変更等に関する事項  
(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間のセグメント利益が、それぞれ小売事業で1,151千円、弁当給食事業で384千円、宅配事業で68千円増加しており、セグメント損失が旅館、その他外食事業で57千円減少しており、全社費用が32千円減少しております。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。